

2025年3月期 第3四半期
決算説明会



**SERENDIP
HOLDINGS**

セレンディップ・ホールディングス株式会社
証券コード 7318

2025年2月18日



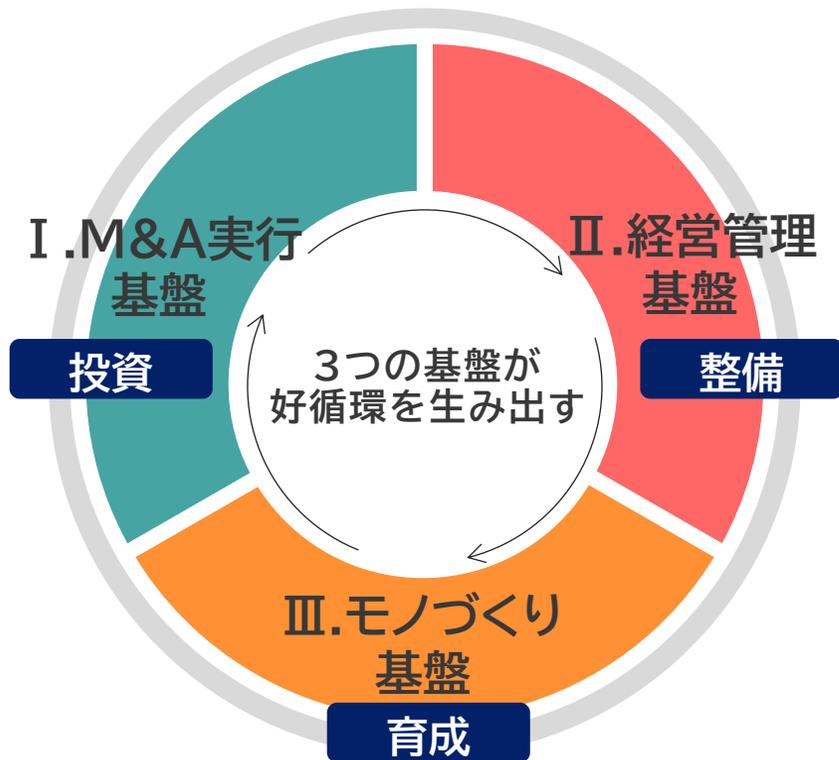
Index

1. 会社概要
2. 決算概要・業績見通し

当社は事業承継を総合的に解決するトータル・ソリューション・カンパニー

日本の中堅・中小企業が直面する課題解決に向けて、独自の「モノづくり事業承継プラットフォーム」を構築

モノづくり事業承継プラットフォーム



モノづくり事業承継における3つの基盤

I. M&A実行基盤 投資

「セレンディップ投資ポートフォリオ(SIP)」の方針に基づき
M&Aプロセス全体(M&Aチャネル開拓、M&A戦略立案/実行)の遂行

II. 経営管理基盤 整備

プロ経営者によるチーム経営、標準化されたマネジメントツール、業務シェアードによる
グループ一体となった「セレンディップ人材育成スタンダード(SHS)」を確立

III. モノづくり基盤 育成

標準化された「セレンディップ改善スタンダード(SKS)」を活用し、製造現場の変革を
推進、R&Dの強化、グローバル化を図る

セレンディップ・チャレンジ500

当社が日本の中堅・中小製造業の持続的成長モデルとなるべく連結売上高500億円を目指す

セレンディップ5つの成長戦略

強化中

1. 非連続的な成長を実現する
事業承継M&A
2. 成長する世界市場に挑戦する
海外進出
3. 新しい価値創造に挑戦する
高付加価値領域、脱炭素・EV化
4. 製造現場の生産性を劇的に向上する
フューチャーファクトリー
5. 中小・中堅企業が規模の経済を獲得する
ホールディングスの企画機能強化

200億円

2024年3月期

500億円

モノづくり
事業

プロフェッショナル
事業

インベストメント
事業

2027年3月期

当社のM&A基本方針 SIP

- 安定的な収益獲得分野と、変動性は高いが成長率・利益率の高い分野へ、セレンディップ投資ポートフォリオ(SIP)に従って継続して投資実行
- 成長のためのR&D・設備投資を織り込んだ適切なバリュエーションに基づく投資判断によりM&Aを実行



戦略的ロールアップ型M&Aと海外進出

- 戦略的に、既存子会社と同様の機能・技術を持つ企業を新たに連結子会社化(ロールアップ型M&A)
- 海外拠点を持つエクセル社の参加により、当社のグローバル化が一気に加速

機能・技術を軸としたロールアップ型の事業承継M&Aを実施

機能・技術

金属プレス加工	佐藤工業	イワキ	
樹脂成型	三井屋工業	エクセル	
デザイン	アパックス	トライシス	
表面加工など	白金鍍金	3社を連結子会社化	
	中核会社		

グループ会社

エクセル・グループの生産基盤を活用し自動車内外装品の海外販路を拡大



THAI EXCELL MANUFACTURING Co., Ltd

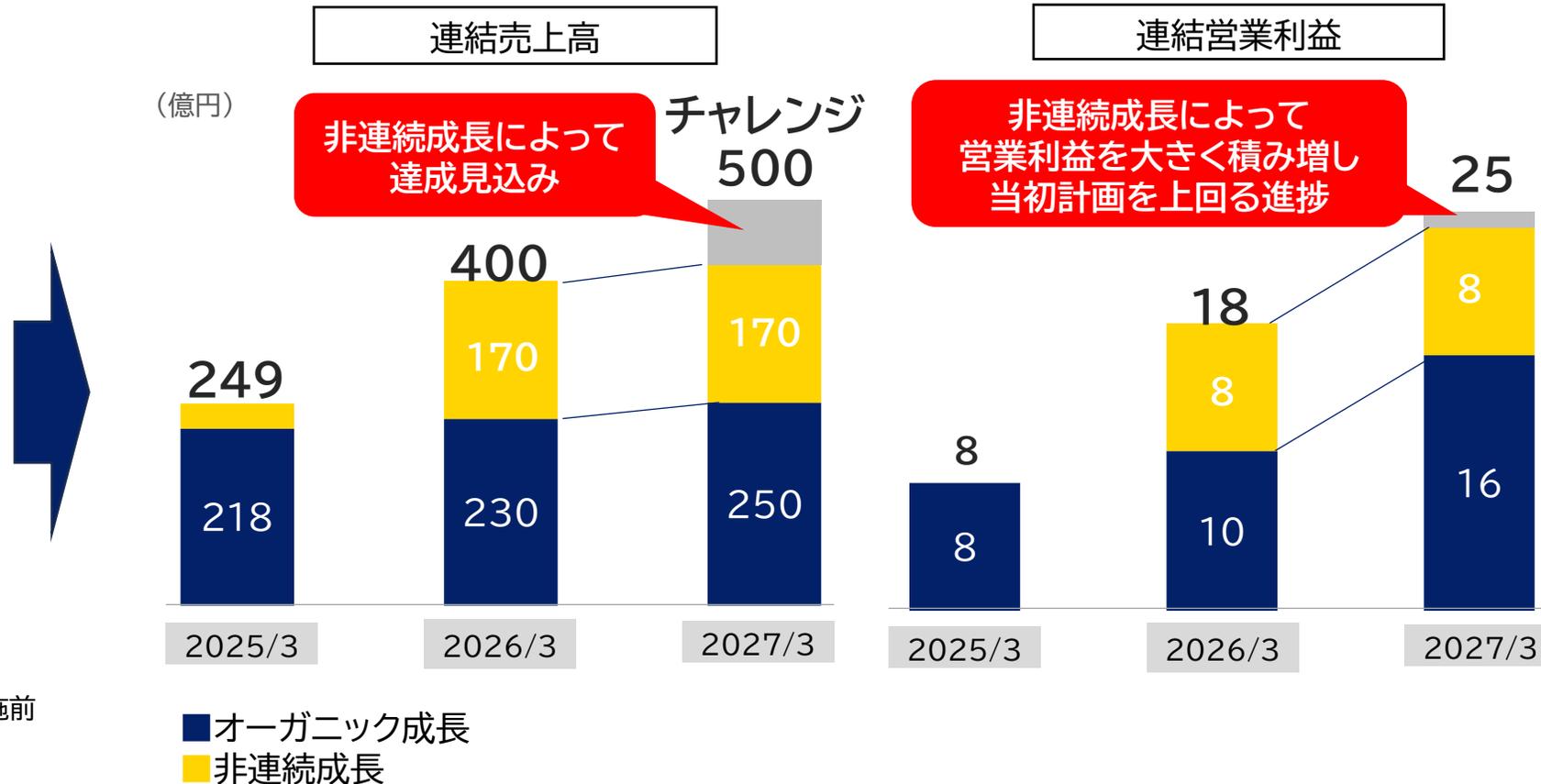
セレンディップ・チャレンジ500達成に向けて前進

- ・ 当期中に4件のM&Aを実施し、非連続成長が一気に加速

「非連続成長」を実現した当期のM&A実績

新規M&A	実施時期	売上高 (億円)
セレンディップ・ロボクロスマーケティング	2024年4月	1
イワキ	2024年10月	71
トライシス	2024年10月	1
エクセル	2024年12月	111
合計		184

※上記「売上高」はM&A実施前





Index

1. 会社概要
2. 決算概要・業績見通し

【2025年3月期 第3四半期】 連結業績サマリ

- 売上高は、第3四半期累計で**過去最高を更新**
- 新規M&A関連費用230百万円を営業費用、借入等に係る営業外支払手数料158百万円を計上した結果、営業利益・経常利益は減益
- 当期純利益は、**M&Aに伴う負ののれん発生益2,436百万円を特別利益として計上し、前年同期比4.6倍**

売上高

15,458百万円

前年同期比 **+4.4pt**
前年同期 14,813百万円

経常利益

462百万円

前年同期比 **-37.1pt**
前年同期 734百万円

営業利益

488百万円

前年同期比 **-20.6pt**
前年同期 615百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

2,544百万円

前年同期比 **+364.2pt**
前年同期 548百万円

調整後
EBITDA

1,621百万円

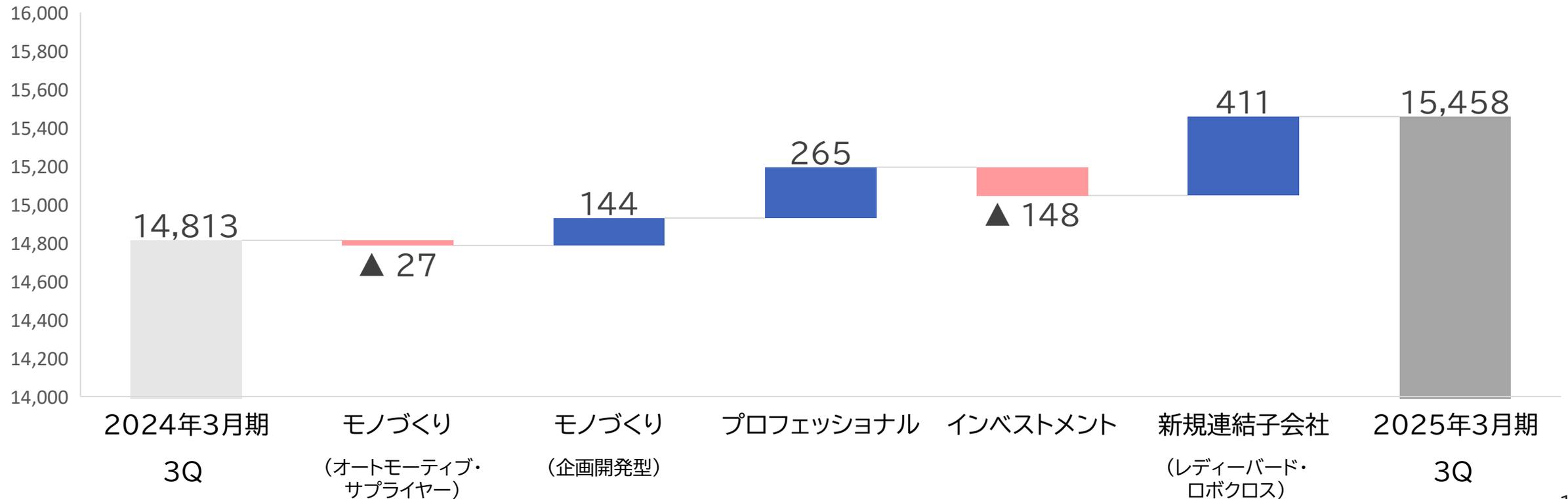
前年同期比 **+14.9pt**
前年同期 1,411百万円

調整後EBITDA: 営業利益 + のれん償却費 + 減価償却費 + 一過性の新規M&A関連費用

連結売上高増減分析

- レディーバード・ロボクロスの新規連結開始による増収
- ITコンサルティングサービスへの旺盛な需要および人員増強に伴うプロフェッショナル・ソリューション事業の増収
- グループ連携強化によるアペックスの新規顧客獲得によりモノづくり事業（企画開発型）が増収

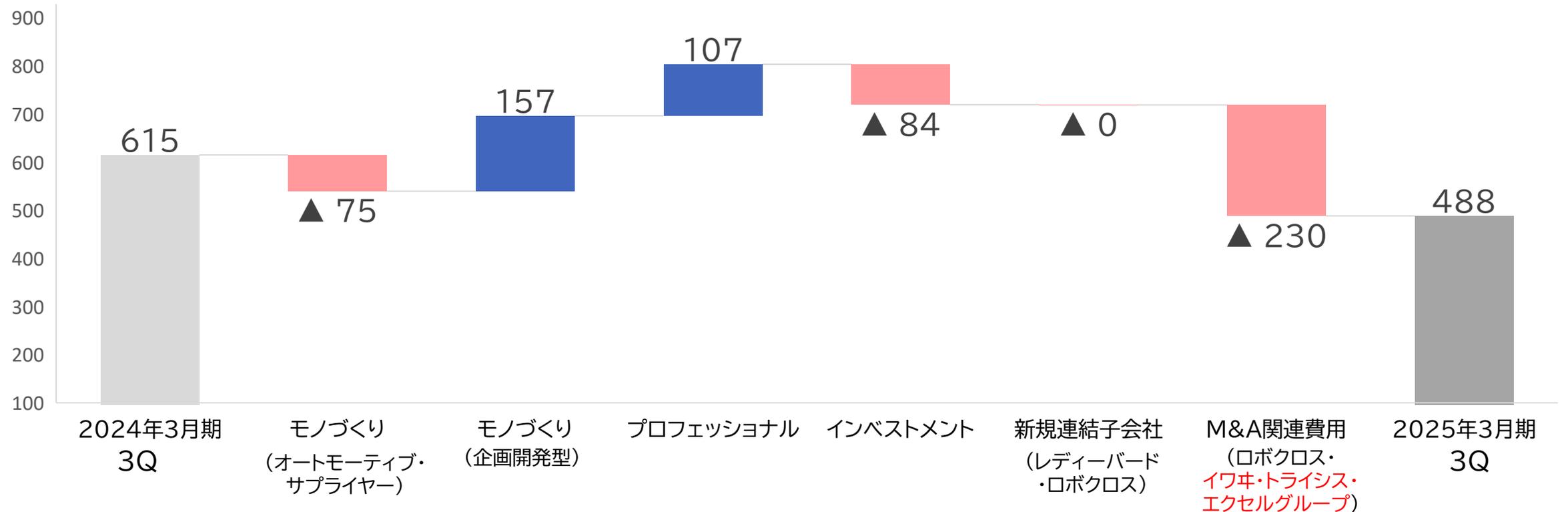
(単位:百万円)



連結営業利益増減分析

- エクセル、イワキ、トライシス、ロボクロスの新規M&A費用を計上し減益
- 高付加価値・高利益率のアパックスの増収を受けモノづくり(企画開発型)が大幅増益
- プロフェッショナル・ソリューション事業の増収を受けて増益

(単位:百万円)



【2025年3月期 第3四半期】セグメント売上高およびセグメント利益の状況

- グループ間シナジーによる販路拡大により、アペックスの受注が順調に進捗し、増収増益

	売上高			営業利益		
	2024年3月期 3Q	2025年3月期 3Q	前年同期比	2024年3月期 3Q	2025年3月期 3Q	前年同期比
モノづくり事業	13,836	14,343	+3.7%	588	469	-20.2%
オートモーティブサプライヤー	11,473	11,446	-0.2%	535	269	-49.6%
佐藤工業	3,902	3,736	-4.3%	120	8	-93.3%
三井屋工業	7,570	7,711	+1.9%	393	430	+9.4%
企画開発型モノづくり	2,362	2,896	+22.6%	52	199	279.7%
天竜精機	1,100	732	-33.5%	-35	-138	-
アペックス	1,262	1,776	+40.7%	91	352	+286.8%
レディーバード	-	390	-	-	57	-
プロフェッショナル・ソリューション事業	1,048	1,408	+34.3%	-106	-31	-
セレンディップ・ホールディングス	621	829	+33.5%	-108	-11	-
セレンディップ・テクノロジーズ	541	666	+23.1%	19	24	+26.3%
セレンディップ・ロボクロスマーケティング	-	22	-	-	-5	-
インベストメント事業	266	177	-33.2%	134	50	-62.6%
セレンディップ・フィナンシャルサービス	266	177	-33.2%	134	52	-61.2%

(注)個別業績については内部売上高又は振替高を含んでいるため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。

業績予測の修正(連結)

- 売上高は、オーガニック成長に非連続成長を上乗せし**2ケタ上方修正**
- 営業利益・経常利益は、一過性の新規M&A関連費用、借入等に係る営業外支払手数料を計上するも、新規M&Aによる非連続成長が吸収し、**概ね期初予測を確保**
- エクセル・イワヅのM&Aに伴う負ののれん発生益により**当期純利益は対期首予測5.0倍**に大幅上方修正。一過性費用を除く**実質的な営業利益・経常利益は対期首予測2ケタ増益**見込み

(単位:百万円)	FY2025 期初予測 (5/8公表)	FY2025 今回予測	増減 (増減率)	うち 一過性要因	一過性要因 除く実質予測
売上高	21,800	24,900	+3,100 (14.2%)	—	24,900 (+14.2%)
営業利益	800	815	+15 (1.9%)	▲230	1,045 (+30.6%)
経常利益	735	690	▲45 (▲6.1%)	▲388	1,078 (+46.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	546	2,770	+2,224 (407.3%)	+2,048	722 (+32.2%)
1株当たり当期純利益 (単位:円 銭)	121.08	613.48	—	—	—

連結貸借対照表サマリ

- 負債:新規M&A等により借入金が7,701百万円増加
- 資産:現預金が5,733百万円増加
- ネット有利子負債の増加は1,968百万円に抑制し、自己資本比率は24.9%

(単位:百万円)	2024年3月期末	2025年3月期3Q	増減額
総資産	20,271	33,577	13,305
流動資産	9,198	18,365	9,166
固定資産	11,073	15,212	4,139
負債	14,112	24,993	10,881
流動負債	7,590	13,320	5,729
固定負債	6,522	11,673	5,151
純資産	6,159	8,583	2,424
自己資本比率	30.4%	24.9%	-5.5pt

Contact Us



<https://www.serendip-c.com/>



愛知県名古屋市中区錦 1-5-11
名古屋伊藤忠ビル

